

春がお
すすめ

No. 18 名残のサクラと

萌え木の山里を歩きます

自然

歴史

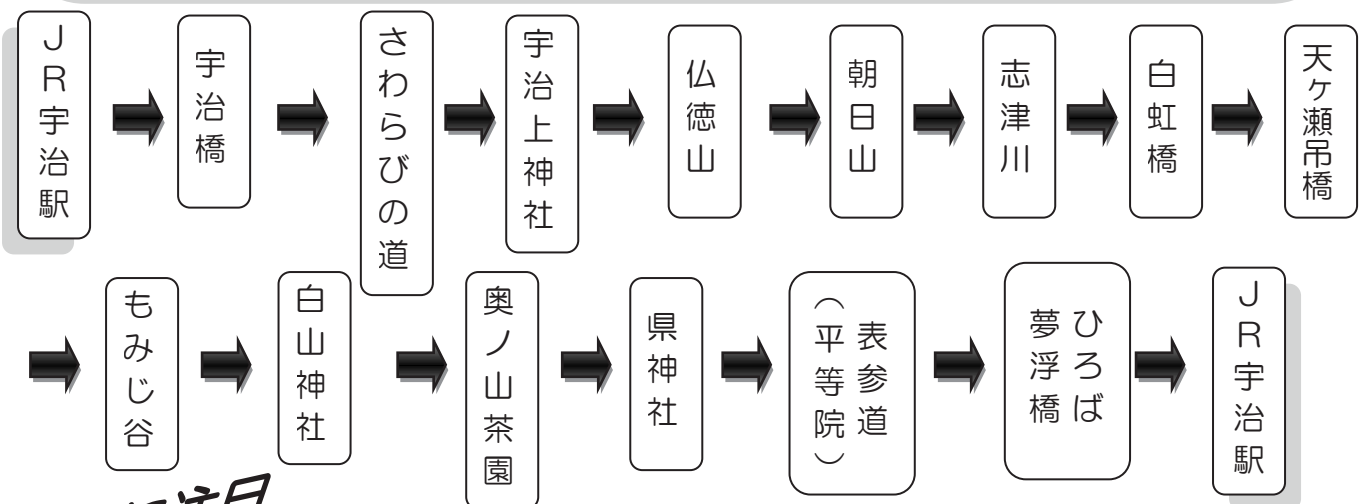
里山

おすすめポイント

春爛漫を象徴するソメイヨシノが散り果てた後、ようやく落ち着いた春がやってきます。里ザクラが豪華な花をつけ、木々は初々しい芽生えを見せ、それぞれが個性的な新緑の枝を伸ばし、山々は緑のパッチワークに彩られます。

東海自然歩道に沿って、宇治川の流れを感じながら、吊橋をわたり、もみじ谷の清流に心を洗われてみてはいかがでしょうか。

新緑の中にたたずむ社寺や宇治十帖の古跡など、新鮮な感動をあたえてくれることでしょう。



ここに注目



●東海自然歩道

宇治の東海自然歩道は、炭山から志津川を経て宇治川を渡り、白川から宇治田原へと続く。この道標は、白山神社と寛子の金色院跡の分岐点にある。



●中の島より仏徳山

標高131.8m、仏徳山とは興聖寺の山号に因んで名付けられたものである。展望台からは眼下に宇治川、そして開けた景色が眺望出来る。朝日山、志津川への道が尾根に続く。

